

2015～2016 年度



世界へのプレゼントになろう

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日 : 毎週水曜日 12:30～13:30

例会場 : 越谷市千間台東 1-1-6 クオレ千間台 2F

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立: 1976 年 5 月 11 日

会 長 : 大熊 正行

副 会 長 : 関 森 初 義

幹 事 : 会 田 謙 二

会報委員長 : 江 口 公 晴

第 1935-6 回 例会記録 No.18

平成 27 年 12 月 16 日

司会 : 大濱 裕広 編集 : 大島 直幸

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング「それでこそロータリー」
3. ロータリアンの行動規範
4. お客様紹介
薬学博士 明治薬科大学講師 野澤玲子 様
越谷東 RC 浜野隆浩 様
5. 会長挨拶
6. 次年度会長エレクト挨拶
7. 幹事報告
8. 雑誌・記事紹介
9. 委員会報告
10. スマイル報告
11. お客様挨拶
越谷東 RC 浜野隆浩 様
12. 外部卓話
薬学博士 明治薬科大学講師 野澤玲子 様
「がん化学療法の進歩」
13. 点鐘

次回例会案内 平成 28 年 1 月 13 日

浪江 RC 合同新年例会

橋本屋

会長卓話



大熊 正行 会長

先日の IM ゴルフは、多数の会員の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。朝から生憎の雨でだいぶ濡れてしまって、またコースコンディションも悪くいつもの腕前を發揮出来なかった人が多かったようです。

当日、体調等の理由で出場を辞退された方もいらっしゃるようですが、あの降りようでしたので致し方ないと思いますし、ゴルフ場まで来てから帰られたようですから流石マナーをわきまえたロータリアンだなと思いました。

12 月も残り半月となってしまいました。実働では、あと何日もありませんからどなたさまも忙しく慌ただしい年の瀬かと思えます。来週は、家族同伴のクリスマス例会ですので、皆様奮ってご参加いただきたいと思えます。

今日は何の日かなと思ひまして調べましたら、1890 年(明治 23 年)の今日、日本で初めて電話

が開通した日だそうです。東京～横浜間の電話交換業務を 9 名の交換手で対応したということです。加入者もわずかで、東京で 155 人、横浜で 42 人だったそうです。当時の電話料金は定額料金で東京が 40 円、横浜が 35 円で、当時、1 円で米が 15kg 買えたそうですので、今の値段に換算すると、40 円は 12 万円に値するようです。

また、1932 年のこの日、日本橋の百貨店、白木屋(後の東急百貨店)の 4 階から火災が発生。14 人が死亡する惨事となり、日本初の高層建築物火災となったそうです。この火災が「女性の洋風下着が普及するきっかけとなった」とする説がありますが、これは当時の女性は和服でズロース(パンツ)を穿いておらず、恥じらいを重んじた女性たちが、避難する際にロープから手を放してまでも着物の裾を押さえたという話に基づいているとのことですが、しかし、「犠牲者は飛び降りや、帯などで降りようとして失敗したことによる転落死だった」との記録もあるようで、「洋風下着のきっかけ」については単なる都市伝説であるという向きもあるようです。

さて、12 月は「疾病予防と治療月間」ということで、第 1 例会では整形外科医の山口会員に卓話をしていただきましたが、本日は、佐藤 要会員のご紹介による 野澤玲子先生によります「がん化学療法の進歩」と題しまして 最新のがんの治療法に関するお話を頂くようになっております。故石川輝次会員も前立腺がんがもとで亡くなってしまいました。そして今、すい臓がんで苦しんでいる会員もいます。私も 40 年ほど前に母親を胃がんで亡くしております。今は当時とは比べ物にならないほど医学技術や治療法はかなり進歩しているようですから、どんなお話が聴けるか大変興味深いところです。本日も宜しく願い致します。

次年度会長エレクト挨拶



長谷川 真也 次年度会長エレクト

先週の年次総会で次年度の会長エレクトにご指名頂きました。しっかりやっていきたいと思えます。ロータリーに入会したのは大熊会長と同期で、14 年間活動してきました。後 1 年半、勉強し、このクラブの発展の為に頑張っていきたいと思えます。宜しくお願い致します。

幹事報告



会田 謙二 幹事

- ・12 月 9 日、山口会員より、クラブの退会届けが提出され、慰留をしましたが叶わず、年末年始の時期を踏まえ、本日例会前に臨時理事役員会を開催のうえ審議し、退会が承認されましたので、12 月 16 日付けで退会となりました。たいへん残念です。
- ・越谷中 RC より、国際食文化交流会参加依頼。1/24 おおたけ保育園
- ・RLI の今年度全課程修了者は、大熊会長・大濱会員・大島会員。
- ・ガバナー月信今月号に、当クラブのガバナー公式

訪問の記事掲載。

お客様挨拶



越谷東 RC 浜野 隆浩 様

皆様こんにちは。北クラブの方々には日頃からロータリー活動はもとより、ゴルフでもご指導頂いている方がたくさんいらっしゃいます。本年は 40 周年という事で、尊敬してやまない大熊会長、会田幹事のところへメーカーキャップをさせて頂きました。

雑誌・記事紹介



中澤 広樹 会員

今日ご紹介する記事はロータリーの友 12 月号に掲載されています。

1915 年に刊行されたロータリーの通解はロータリーのバイブルとされていて、100 年経過した今も色褪せることなく、我々が忘れ去ろうとしているロータリーの本質を説いています。ロータリークラブの目的として、会員個人の向上、会員企業を理想と現実において向上させること、会員の属する職業全体の向上、会員の

家・街・国ならびに社会全体を向上させること、会員個人個人の向上がロータリーの理想追及の基礎でありその手段として例会があり、例会において異なる職業を有する会員と親睦を深める中で互いに切磋琢磨し、職業人として向上させなければならない。例会は原点であり核心である。出席率の高い会員こそロータリークラブの宝と記載されています。

外部卓話

「がん化学療法の進歩」



薬学博士 野澤 玲子 様

今日このような機会を作っていただき、ありがとうございました。

プリントも作ってきましたので、そちらを基にお話いたします。

がんといっても色々あるんですけど、肺がんと前立腺がんと膵臓がんについてお話させていただきます。

この表に挙げましたのは、国立がんセンターで統計を行っています 2015 年のがん統計の予測になります。これは死亡率ではなく罹患率で、男女ともに増えているのが大腸がん、そして肺がん・胃がん・前立腺がん、女性で乳がんというように消化器系のがんが日本人には増えているということがわかります。

昔から日本人肺がんが多いと言われていて、胃がんの治療の進歩は目覚ましいものがあるのですが、だんだん食生活の欧米化してきて大腸がんの患者さんも増えているというのがあります。

そしてこちらは男女別の罹患数を分けたものなんで

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

すが、男性の場合は前立腺がんが圧倒的に多いということになっています。女性の場合はやはり乳がんが多い、男女に共通するものとしては胃がん・肺がん・大腸がんという消化器がんと肺がんが多いということになっています。

まず最初に肺がんの説明からしたいんですが、少しだけ機能から説明させていただきます。

肺はもちろん皆さんご存知のように、左右にひとつずつあります。どのようなことをやっているかと言うと、呼吸によって酸素を身体の中に取り入れて二酸化炭素を排出するというのが機能になっています。肺がんというのはどこにできるがんかと言いますと、気管支・肺胞の一部の細胞が何らかの原因でがん化したものを肺がんと言います。

肺がんは進行するにつれて周りの組織を破壊しながら増殖し、血液やリンパの流れに乗って広がる。そしてこれが一番厄介なことで、リンパに乗って広がるということで肺に広がるだけではなく、それが転移の原因になります。肺がんから転移するのが多いものとして、骨に転移するですとか脳に転移して脳腫瘍を起こすとかがあります。不思議なことに心臓にがんはできません。なぜかと言うと血流が速すぎるのががん細胞がくっつかないんですね。皆さんも心臓がんというのは聞いたことがないと思うんですが、ゆっくりした血流に乗ってがんというのは流れていきます。

もうご存知の方も多いと思いますが、肺がんは特に喫煙との関係が非常に深く、タバコを吸っている人になるのではないかとされていますが、特に女性では非喫煙者でも発症することが多いです。女性の方は非喫煙者の方が多いのではないかと思います。この喫煙というのは自分で吸ってなくてもご家族の中で常に吸っている方がいらっしゃるかと、それによっても発症リスクが高まるということが分かっています。ここにリスクファクターを挙げました。耳が痛い方もいらっしゃると思いますが、まず喫煙になります。それから日本は今中国ほどではないんですが、大気汚染で

もなります。それから、今は使えなくなっていますが建築のアスベストの曝露によってもなります。

あと基礎疾患として、慢性型肺疾患 (COPD) を持っている方もリスクが高いんですが、COPD そのものがタバコで起こることが言われています。歌手の和田アキ子さんが COPD コマーシャルをされていたんですけど、和田アキ子さんも初期の COPD と診断されて禁煙をされているということです。欧米では喫煙者の肺がんのリスクは非喫煙者の 20 倍以上、日本人を対象とした研究では男性で 4.8 倍、女性で 3.9 倍ということで、明らかに喫煙がリスクになっていることが分かっています。

肺がん患者さんはこのように禁煙指数というのを計算するのが一般的になっています。この禁煙指数なんですが、タバコをやめたいという方がいらっしゃれば、禁煙外来でも測って、指数が高い人ほど保険適用範囲になるということが分かっています。タバコを吸っている人ほど保険適用になりやすいということです。ここに禁煙指数の計算の仕方はあるんですけど、1 日 20 本、20 年吸われる方は 400 パックイヤーということになるんですが、30 以上の方は非常にリスクが高いということになっていますので、身に覚えのある方は一応心構えをしておいてください。

そして肺がんの種類です。

肺がんは非小細胞肺がん和小細胞肺がんというように分かれています。一般的な肺がんは小細胞肺がんです。それ以外の部位にできる腺がん扁平上皮がんなどは非小細胞肺がんといいますが、それぞれの違いは増殖のしやすさです。喫煙との関連で分けられてくるんですが、女性でタバコを吸っていない方に多いのが非小細胞肺がんです。タバコを吸っている男性の方に多いのが小細胞肺がんというようになっています。さらにより詳しく書いたものがこのスライドですが、小細胞肺がんは肺がんの 15~20% で、非小細胞肺がんはその逆ということになります。患者さんの数で言うと非小細胞肺がんの方が多いです。小細胞肺が

んは増殖がすごく速くて、発見されたときにはかなりステージが進んでいることが多いです。非小細胞肺がんはそれほど速くないです。但し、小細胞肺がんは進みは非常に早いんですけど、抗がん剤の治療も効果が得られやすい、非小細胞肺がんは逆に切除できるなら切除してしまった方がいいと言われていました。但し、非小細胞肺がんは新しい抗がん剤(分子標的薬)が次々と開発されています。

肺がんの症状はまず、なかなか治りにくい咳、血痰・胸痛、息切れ、声がかすれてくるといった症状が見られます。どのように診断されるかと言うと、代替は胸の X 線検査それから CT 検査、この検査で異常があつてから細胞診を行うといったことになっています。

治療は切除できるものは外科的に切除してしまうというのが一番理にかなっています。切除が不能というのは、がんそのものが大きい場合と転移している場合です。その場合には化学療法になりますが、化学療法でがんの縮小があつたり転移がなくなつたりしたら、それから外科療法に移ることも可能です。場合によっては放射線療法と化学療法を併用ということもあります。

治療は小細胞肺がんの場合は、進行が早く転移しやすいので手術できればごく早期ということなので、だいたい殆どの方が発見されたときには手術が適用できないので抗がん剤になるんですが、結構副作用の強いものを組み合わせて使います。非小細胞肺がんの場合はかなり進んでも切除することが可能になります。手術できないステージ 4 くらいでは抗がん剤による治療になるんですが、小細胞肺がんのものに比べると吐き気が少ないものになります。今一番注目されているのが、二次治療では新しい分子標的薬が用いられる、特に女性で非喫煙者で日本人の方でしたら分子標的薬が劇的に効きます。しかもこの 3 つの薬はすべて経口薬なので入院して点滴を受ける必要がなく、もしも脳に転移しても脳にも効きますのでずっと飲んでいくことができます。

次に前立腺がんになります。

こちらは男性の方が殆どなので、自分もなつてしまつたらと思つてらっしゃる方も多いと思いますが、まず前立腺の説明からいたします。

前立腺は正常時はくるみ大の大きさです。主に精液を生成します。前立腺は尿道を取り巻くように存在しています。直腸とも接しておりますので、肛門から直腸診が可能です。ですので肥大症になつたときに肥大の具合を直腸診することが可能です。前立腺の働きには男性ホルモンが必要になります。肥大を起こすというのは男性ホルモンより増殖するんですけど、男性ホルモンは実際には 3 種類のホルモンの総称を言うんですけど、この増殖を起こすホルモンはジヒドロテストステロンというんですが、ホルモンの中では存在率が 5% くらいしかないものですが、このジヒドロテストステロンというのが悪さをして前立腺の肥大を起こしたり、脱毛を起こしたりします。

この前立腺肥大症ですが、この図に描きましたように肥大すると取り巻いている尿道を圧迫するという症状に繋がっています。尿道周囲の前立腺の非悪性腫瘍、これは良性の腫瘍になります。前立腺肥大というのは 40 歳代くらいから開始されて、70 歳代の人で 7 割、80 歳代の人で 8 割の人が肥大しているということになります。さっきも言いましたけどジヒドロテストステロンというものが原因になります。これを産生するのが 5 α リダクターゼという酵素なので、前立腺肥大症の治療薬はこの酵素をとめるということで治療することが多いです。肥大すると前立腺部の尿道の内腔が狭くなり、尿の排泄が妨げられます。主な症状としては残尿・頻尿・夜間頻尿といった症状が出てきます。

前立腺がんと前立腺肥大症は関係があるのかないのか気になるところだと思うんですが、肥大症になつたから必ずしも前立腺がんになるというわけではありません。前立腺がんは元々欧米に多く、日本は米国の 10 分の 1 程度の罹患率と言われていましたが、だんだん増えていきます。

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

なぜ増えているかと言うと、多分日本が長命になっているからです。前立腺がんというのは気づかないでそのまま天寿を全うされることが多いので、天寿がんとも言われていて、なっているも気づかないことが多いんですね。進行も非常に遅いので、がんはよく5年生存率とか言われるんですけど、前立腺がんの場合は例えば「前立腺がんですよ」と言われてから5年間は正常人と生存率は変わりません。それくらい進行が遅いです。但し、前立腺がんは男性ホルモンにより進行されるので、この男性ホルモンを抑えるという治療になります。

ここに違いが表になっているんですけど、まずがんと肥大症の違いは良性か悪性かになります。かかりやすい年齢は両方とも高齢者になります。症状はあまり変わらないので区別が付きにくいところがあります。では何で区別をするのかというと、PSA という前立腺抗原でがんかそうでないかを見極めます。肥大症になる方は大抵の場合泌尿器科にかかられてる方が多くて、前立腺肥大症の方は絶対この PSA を測られています。なので、早期発見に繋がっているのは検査を行ってがんかそうでないかを測られている方が多いです。私の父も今度 85 歳になるんですけど、前立腺がんになっていて、やはり肥大症がきっかけで泌尿器科に通っていて、PSA を毎回測っていたら PSA の値が 10 になったので、一度細胞診をしましょうということになってがんということで治療をしましたが、そのあとに胃がんになったりもしていますが、いずれも早期発見なので今でも普通に生活しています。

リスクファクターはとにかく加齢になります。後は家族歴になります。前立腺がんの家族歴が大きなリスクファクターになるので、自分のお父さん・おじいさんが前立腺がんだと自分もなる可能性が高いです。よく、タバコ吸ってるから前立腺がんになるんでしょと言われてたりするんですけど、因果関係がはっきりあると言う論文は今のところありません。なので、前立腺がんについてはタバコ・飲酒について今のところそれほど気

にすることはありません。

治療ですが、特に症状がなくて、そんなに PSA の値が高くならなければ PSA の値を見ながら何もしないとこの方がかなり多くいらっしゃると思います。後は手術で前立腺を取ってしまう方法がありますが、これは抵抗される男性の方が多いという話を聞きました。後は私の父もやりました放射線療法です。放射線治療も1~2ヶ月でOKです。一番多いのはホルモン療法です。これは男性ホルモンを抑えてしまうことを行います。

万が一、転移をしている場合や再発してしまったという場合には、ホルモン療法がとにかく選択されます。どんな薬を使うかという、男性ホルモンを止める薬、もしくは女性ホルモンの薬を使います。

これらのホルモン療法が効かないとき、去勢抵抗性前立腺がんといいます。ホルモン療法により男性ホルモンの分泌が抑えられているのにも関わらず前立腺がんが悪化する、そういう場合は化学療法を行います。

(資料を見て)ここに挙げたのは全部ホルモン療法です。薬の売上を調べたところ、年間100億円以上売り上げる抗がん剤が結構あったんですが、ピカルタミド・カゾデックスというのが上位30位くらいに入っています。

化学療法は、いわゆる抗がん剤を使うんですが、ドセタキセルというものが今まで使われていたんですが、去年の9月に発売されたカバジタキセルという薬が今一番ホットな抗がん剤です。

次に膵臓になります。

膵臓というのは消化器でちょうど胃の後ろ側にある15cmくらいの臓器です。

膵臓の働きは何かというと、消化液やホルモンを産生します。消化液は色々出すんですが、十二指腸で糖とかたんぱく質、脂質を分解します。これが重要でインスリンを出します。インスリンというのは血糖値を下げるホルモンで、インスリンが出なくなると糖尿病とい

う病気になってしまいます。血糖値を上げるホルモンというのは色々あるんですけど、血糖値を下げるホルモンはインスリンしかないので、糖尿病になると大変なことになってしまいます。膵臓がんというのは膵臓にできた悪性腫瘍のことを言うんですけど、だんだん我が国では増加している傾向があります。ただ発症は比較的遅く、60 歳代から発症する人が多くて、残念ながら男性に多く発症します。

症状はなかなか気が付かれないことが多いんですけど、腹痛・黄疸・体重減少・血糖コントロールの悪化で発見されることが多いです。

リスクファクターですが、この場合もやはり家族歴が重要になります。身内で膵臓がんの方がいるとリスクが高くなります。それから元々糖尿病・肥満・慢性膵炎とって何かしら膵臓に関係する病気があったりするとリスクが高くなります。特に急性膵炎などはインスリンが分泌されなくなって 1 型糖尿病になってしまうという方もいるので、注意が必要になります。

どのように発見するかというと、超音波・CT 検査なのですが、結構内臓の奥の方にあるので、超音波とか CT を使わないと見つからないということです。

膵臓がんも腫瘍マーカーがあります。そういったマーカーを測ってもらうというのも見つかるきっかけになります。

(資料を見て)治療はこのようになっているんですけど、膵臓がんも取れたら取ってしまうのが一番いいんですが、だいたいは発見が遅いことが多いので、手術だけで取るというのはなかなか難しいことが多く、放射線治療や S1 という抗がん剤を使うとか大腸がんと同じ方法を使ったりします。フォルフィリ、フォルフォックスという薬を使うんですけど、いずれも日本で開発されたフルオロウラシルという薬を元に作っているんですけど、日本は胃がんが多いと先ほど説明したんですけど、胃がんが多かったために消化器系のがんで使われる薬の開発が早くなっています。

委員会報告

親睦委員会

今年のクリスマス例会は 85 名の参加を予定しております。当日は色々なアトラクションを用意しております。宜しくお願い致します。

40 周年記念式典委員会

本日例会終了後に委員会を行います。



スマイル報告



・越谷北 RC の皆様、いつもお世話になります。大熊会長、会田幹事頑張ってください。松井エレクトこれからも千葉 CC でご指導よろしくお願ひします。

越谷東 RC 浜野隆浩 様

・野澤玲子様、本日卓話宜しくお願い致します。越谷東 RC 浜野様ようこそ！ごゆっくりお過ごしください。

大熊正行

・野澤様、卓話よろしくお願ひします。越谷東 RC 浜野様ようこそ！

会田謙二

・野澤玲子様、浜野隆浩様、ようこそ！

松井昭夫 堀野眞孝 中島正義 宮崎敏博

江口公晴 佐藤要 今井英治

青木清 鈴木英男 中澤広樹

・今迄越谷北 RC 様には大変お世話になりました。今年、結婚することになりましたので今年いっぱいでお店を閉めます。本当にお世話になりました。

大門 長島才子

・今年の例会場での例会は、今日が最後になります。一年間大変お世話になりました。

鈴木英男

・私はインド旅行中、ヒन्दゥー教の聖地バナランで阿部総理を見ました。総理は夕方飛行機で来てガンジス川の祈りの儀式を見てわずか 4 時間の滞在でデリーへ戻りました。

鈴木由也

・年内大変お世話になりました。

小林光則

・前回無断欠席。頭の中はまだ職業奉仕ばかりです。

小林操

・小河内さん元気になって下さい。

木村二夫

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

- ・毎度同じような内容ですが、寒波の到来を心から願っています。夏は暑く、冬は寒く。 一柳昌利
- ・結婚記念ありがとうございます。クリスマス例会の会費のご協力ありがとうございました。 鷹島綾子
- ・本日もよろしくお願い致します。 高瑠美子
- ・世界平和の為に。

関森初儀 酒井新樹 関雄二郎 大濱裕広
須賀篤史 深野秀樹 末木照久市川洋和

出席報告

会員数	56	名
出席免除者	18	名
出席者	41	名
欠席者	11	名
出席率	80	%

家族同伴クリスマス例会

於:ギヤザホール

会長挨拶



大熊 正行 会長

本日は、越谷北ロータリークラブの家族同伴クリスマス例会です。

日ごろ、ロータリー活動にご理解、ご協力をいただいております奥様やご家族、そして独協埼玉高校の瀬戸先生をはじめと致します、インターアクト同好会の生徒のみなさん、ご参加ありがとうございます。そして日頃の、ご協力に改めて感謝を申し上げます。

本日は、時間の許す限りごゆっくりとおくつろぎ楽しんで行ってください。また、本日の準備と設営をしていただきました、親睦活動委員会並びに出席会場委員会の宮崎・高橋両委員長を始め担当の皆さん大変ありがとうございました。

ところで今日は、冬至なんですね！一年で一番昼が短く夜が長い日ということですから、明日からは当然、日一日と日が長くなってゆく、日が落ちるのが遅くなっていくということですから、なんだか嬉しいような気持ちになるのはわたしだけでしょうか？今年はこのところ暖冬ですので、ゆず湯に入って温まろうとかあまり思わないですね。

冬至に「ゆず湯」に入るわけ

寿命が長く病気にも強い柚子の木にならって、柚子風呂に入って無病息災を祈る風習になったと言われています。実際ゆず湯は風邪予防にも効果が高いようですよ。こんにやくを食べるのは一年間たまったの砂下ろしをするためだとか。

その他の言い伝え

冬至に「ん」のつく食品を食べると幸運が得られるという言い伝えがあります。

冬至の七種は「ん」が 2 つつくもので「なんきん(かぼちゃ)」「にんじん」「れんこん」「ぎんなん」「きんかん」「かんてん」「うどん(うどん)」でこれらを食べると病気ににかからず、うどんは運(うん)・鈍(どん)・根(こん)に通じるので出世するといわれています。

悪運リセットの日

冬至は「一陽来復」の日でもあり、転じて悪いことばかり続いたあとでも、ようやく幸運に向う日とされます。南瓜を食べて幸運に向かいましょう。

「冬至に天気がよければ翌年は豊作」「冬至に雷が鳴れば雨が多い」「冬至に南風がふけば地震・日照り・大雨」「冬至に雪が降れば豊作」という言い伝えも残っています。

豆腐を食べたり小豆粥を食べる地方もあるそうです。

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

幹事報告



会田 謙二 幹事

・第8グループ IM インターシティー・ミーティングのご案内。

1月28日(木)ベルヴィギヤザホール 14時開会
全員登録となっていますので、多くのご参加を是非
お願い致します。

新入会員入会式

新沼徹会員、川島徹会員の入会式を行いました。



懇親会の模様



越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

2016-2017 年度 理事・役員

平成 27 年 12 月 9 日の年次総会において、
2016-2017 年度の理事・役員が以下のとおり承認
されました。

	役 職	氏 名
役員	会 長	松 井 昭 夫
役員	副 会 長	一 柳 昌 利
役員	会 長 エレクト	長 谷 川 真 也
役員	幹 事	須 賀 篤 史
役員	会 計	黒 田 幸 英
役員	会場監督(SAA)	岡 崎 勲
役員	直 前 会 長	大 熊 正 行
理事		本 間 睦 人
理事		木 村 二 夫
理事		小 林 光 則
理事		宮 崎 敏 博
理事		堀 野 眞 孝
理事		太 田 靖 彦
理事		鷹 島 綾 子
理事		吉 澤 晴 雄
理事		関 雄 二 郎
理事		鈴 木 英 男
理事		大 濱 裕 広